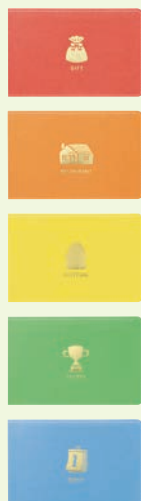
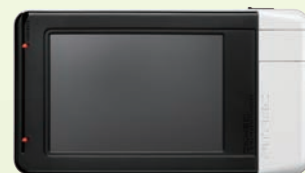




キングジムレポート 2018





“今まで”世の中に

キングジムは、創業当初から“世の中にないものを作る”
のもと多くの商品を世に送り出してきました。

「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社
開発姿勢が示されています。新しい発想を大切に、市場
しています。

CONTENTS

- 3 Top Message
- 5 KINGJIM PRODUCTS
- 11 キングジムのものづくりフィールド
 - 11 商品開発
 - 13 コミュニケーション活動
 - 15 環境配慮・品質管理
 - 17 職場環境
- 19 財務データ
- 20 沿革
- 21 会社概要、国内グループ会社
- 22 事業拠点



「ふかっ」にものな”

う” “人の物まねをしていたら面白くない”という信念

会に貢献する」——この経営理念に、キングジムの商品

にイノベーションを引き起こすべく積極的な活動を展開

編集方針

本レポートは、キングジムグループの企業活動全般を多くの方にお知らせする目的で作成しました。
ご意見・ご要望をいただきながら、責任ある企業としての役割を果たしていきたいと考えています。

対象期間

2017年度(2016年6月21日～2017年6月20日)

※ ご理解を深めていただく必要に応じて、この期間の前後の内容についても記述しています。

対象範囲

キングジムグループ全体に関する内容を主としていますが、株式会社キングジムに限定した記述に関しては、「キングジム」と明示し、「キングジムグループ」と区別しています。

本書の内容についてのお問い合わせ先

株式会社キングジム 広報室

Tel: 03-3864-7073

※このキングジムレポートに記載されている会社名、ロゴ、商品名、サービス名、およびブランドなどは、株式会社キングジムまたは該当する各社の登録商標または商標です。※Twitterは、アメリカ合衆国または他国々におけるTwitter, Inc.の登録商標です。※Facebookは、Facebook, Inc.の商標です。※Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram, LLCの登録商標です。

Top Message

積極的な商品開発にチャレンジし、
夢のある新商品の創出に
力を注いでいます



株式会社キングジム
代表取締役社長

宮本 彰



キングジムは、事務用の「ファイル」と「電子文具」を核とした、情報整理用品のメーカーです。

代表商品の「キングファイル」は、日本のオフィスにファイリングという文化を創り出しました。1988年には、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルライター「テプラ」を開発。発売以来、ファイルのタイトル表示だけでなく、さまざまな分野の表示に活用され、キングジムにおける第2の柱となりました。

「キングファイル」も「テプラ」も、そのジャンルのパイオニアとして新しい市場を開拓してきたと言えます。

「独創的な商品を開発し、 新たな文化の創造をもって社会に貢献する」

この経営理念のもと、私たちは高い志を持ち、新たな時代を切り拓く商品づくりを続けています。

2008年に発売したデジタルメモ「ポメラ」は、キーボードによる文字入力に特化した商品で、「手軽にその場でスグにメモをとる」というシンプルなコンセプトが多くのお客様からご支持をいただいております。

2012年に発売した「ショットノート」は、スマートフォンと連動し、手書きメモを簡単にデジタル化できる新世代ノートとして新しいジャンルを創造しました。

キングジムでは、お客様にご満足いただける高い品質、長い間愛される「デザイン」や「環境保全」に配慮した設計など、ひとつひとつの商品にお客様へのメッセージをこめて市場に送り出しています。その上で、これまでの文房具の領域に留まらない積極的な商品開発にチャレンジし、夢のある新商品の創出に力を注いでいます。

このキングジムレポートは、商品開発をはじめとする、キングジムグループの活動全般をまとめています。当社の取り組みをご覧いただき、今後ともご支援いただければ幸いに存じます。

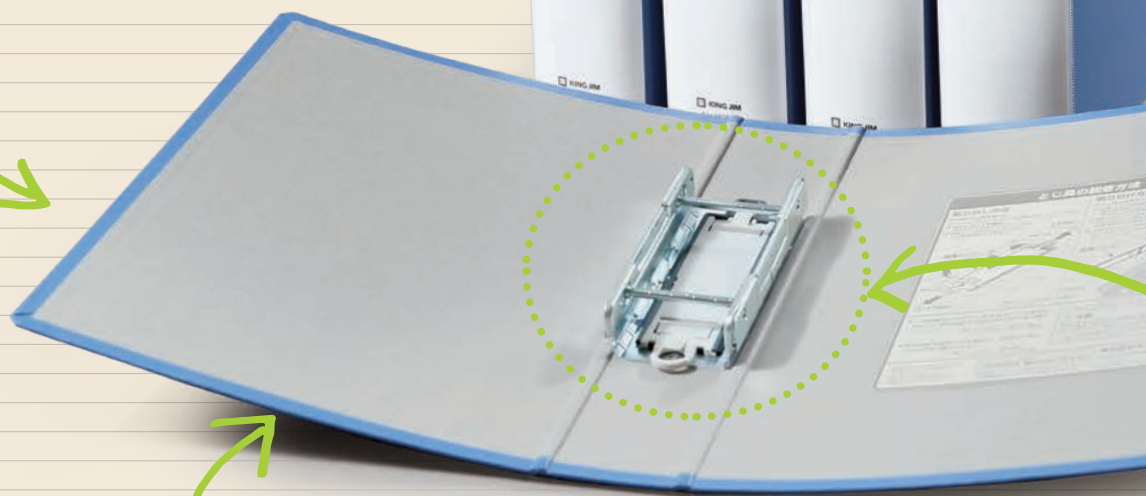
キングファイル

「キングファイル」シリーズは、国内シェアトップを誇るキングジムの代表商品です。1964年の発売以来、累計5億冊を販売し、日本のオフィスのスタンダードファイルとして、さまざまな場面で活用されています。

USEFUL
POINT

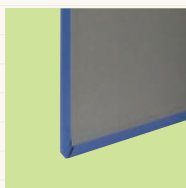
大量の資料を保管し
抜き差し自在！

1954年に登場した「KING PIPE FILE」は、日本で初めてのパイプ式ファイルで、「大量の資料を保管でき、とじた書類の抜き差しが便利なファイルはないか」という声をもとに開発されました。厚紙と紐で書類をとじることが多かった時代に、“書類はファイルにとじる”という文化を定着させました。その後、使いやすいように改良を重ね、現在の「キングファイル」が誕生しました。



STRONG
POINT

汚れがつきにくく、
さまざまな耐久試験をクリアした品質の高さ



キングファイルの表紙は、丈夫な芯材に、ポリプロピレン製の表層材を巻き付け、背見出しカバーを熱溶着して作られています。オフィスだけでなく、工場など手が汚れた状態で使用する場面でも、汚れがつきにくいように考案されたものです。また、出来上がったキングファイルは、とじ具の開閉試験など、さまざまな耐久試験をクリアしており、長期間にわたって書類を保存できるよう、品質にこだわって製造されています。

累計販売数
5億冊

DESIGN
POINT

ファイル・バインダー業界初！ グッドデザイン賞 受賞

白地にカラフルなスクエアマークを施した背表紙は、紺やエンジ、茶色の背表紙が主流だった当時のファイルとしては非常に斬新なデザインでした。黒の枠どりをした



スクエアマークは、中の有彩色が目立ち、ファイルの中身を系統別に分類し、区別できます。このデザインと機能性が評価され、通商産業省（現：経済産業省）が選定する「グッドデザイン賞」をファイル・バインダー業界で初めて受賞しました。また、スクエアマークはのちにキングジムのロゴマークとなりました。

Column

キングジムの誕生

キングジムの創業者である宮本英太郎は、名簿台帳「人名簿」や「印鑑簿」の発明家として活動を開始し、1927年に株式会社キングジムの前身である「名鑑堂」を創業しました。英太郎の口癖は「人と同じ事をしたら楽しみがない」でした。彼の考案した「人名簿」からスタートしたキングジムは、それまで世の中になかったユニークな商品を送り出してきました。今も日々新しいイノベーションを続けています。



宮本英太郎



人名簿

とじ具の進化

1964 年



片開きタイプ

発売当初から使用されていた片開きタイプは、サイドの指掛け部分を軽く押すだけでとじ具が開き、書類を簡単に抜き差しできる、当時は画期的な仕様でした。

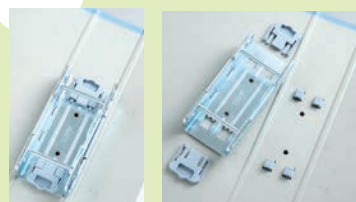
1975 年



両開きタイプ

左右どちらからでもとじ具を開くことができ、下の方にとじた書類も抜き差しがしやすくなりました。どちらからも開くので「ドッチファイル」と名付けられました。

1998 年



脱着タイプ

とじ具を表紙から着脱でき、分別廃棄が簡単になりました。また、表紙だけを買って替えて、とじ具をリユースできるため、環境にもやさしい設計です。

テプラ

「テプラ」は、1988年に世界初の漢字変換が可能なコンパクトなラベル作成機として開発され、現在も日本語ラベルライターの国内シェアトップのブランドとして、ラベルライターの代名詞となっています。

USEFUL POINT

ファイルの背見出しを 誰でも簡単に美しく！

それまでファイル・バインダーの専門メーカーだったキングジムが、はじめて開発した電子製品がラベルライター「テプラ」です。「ファイルの背表紙のタイトル書きを、誰でも簡単に美しく表示できるように」という発想から開発をスタートしました。約3年をかけて開発した「テプラ」は、ラベルに好きな文字を手軽に印刷し、さまざまな場所に貼り付けられる利便性から、ファイルの背見出しだけでなく、ビデオテープのタイトル表示や持ち物へのお名前付けなど、さまざまな用途へと広がりを見せました。

現在では累計950万台を販売し、「キングファイル」に続く、キングジムの“第2の柱”となっています。



テプラの進化

1988年



「テプラ」TR55

ラミネートタイプのテープカートリッジを採用した、世界初の漢字ラベルライター。当時はまだパソコンが普及していなかったため、入力方式はダイヤル式を採用しました。

1992年



「テプラ」TR66

パソコン普及率の上昇を受け、オフィスでの本格的な使用に対応するため、「テプラ」シリーズで初めての「JIS 配列キーボード」入力方式を採用しました。

1992年



「テプラ」PRO SR606

ノンラミネートタイプのテープカートリッジを採用した「テプラ」PRO シリーズが登場し、現在のラベルライター市場のスタンダードモデルとなりました。

累計販売数

950
万台

USEFUL
POINT

「テプラ」をより便利に！

文字や記号を印刷して貼るだけではない、一歩進んだ「テプラ」の使い方も提案しています。オフィスやご家庭で便利に使える商品として、さらに進化していきます。



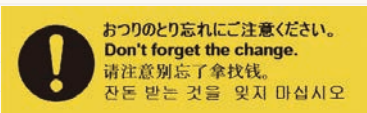
ピットコード印刷機能

入力した文字や記号と一緒に印刷される二次元コード「ピットコード」に、iPhone 内のデータをひも付けることができます。(SR170、SR-GL2 に搭載)



お名前タグメーカー

りぼんテープカートリッジを使って、お子さまの持ち物へのお名前付けに便利な「お名前タグ」を簡単に作ることができます。



外国語ラベル工房

「テプラ」を活用し、英語や中国語、韓国語のラベルが簡単に作成できる無料の Web サイトです。用途に適した文例や単語をフリーワードで探したり、観光地や宿泊施設、接客メッセージなど、多様なカテゴリーからも検索することができます。また、約 2,700 文例と 1,100 種類以上の絵記号を組み合わせることで、外国の方にわかりやすくメッセージを伝えることができます。(PC 接続機種に対応)



TEPRA

2002年



「テプラ」PRO SR3500P

「テプラ」シリーズで初めての、パソコン接続専用モデルが登場。パソコン画面上で写真や画像などを取り込んでラベルを作成することができ、ラベル作成の幅が広がりました。

2015年



「テプラ」PRO SR970

高速印刷が可能になり、ラベルを印刷する際の作業効率が大幅にアップしたハイスペックモデル。動作音も従来機種と比べて静音設計で周囲を気にせず作業ができるようになりました。

2017年



「テプラ」PRO SR-GL2

かわいいフォントや絵文字が搭載された女性向けのガーリー「テプラ」。暮らしを楽しむ道具として「テプラ」を使ってほしいという思いから生まれ、活用範囲を広げています。

ステーションナリー

stationery



ペンサム

ノートや手帳の表紙にはさんで一緒に持ち歩くことができる新発想のペンケースです。マグネットが内蔵されたフリップが付いているので、しっかりと固定できます。ペンケースとノート類は一緒に持ち歩くが、ばらばらになりやすいという不満点を解消した商品です。



コンパック

A4サイズの書類をパラパラとめくって閲覧でき、持ち運ぶ時にはコンパクトに折りたためる、閲覧性と持ち運びやすさを兼ね備えた二つ折りのクリアファイルです。ファイルの開閉に合わせてポケットがスライドする「二つ折り機構」を採用したことで、折りたたむ際に書類がシワになりにくく、スッキリと収納できます。

電子文具

Electronic stationery



「ポメラ」



「ビズレージ」



「ビットレック」

デジタルメモ「ポメラ」は、“メモをとる”ことに特化したデジタルツールです。起動の早さやテキスト入力のしやすさが特長で、2008年の発売以来多くのユーザーに好評をいただいています。機能をシンプルに絞込んだ点や徹底した作り込みが特長の商品です。

デジタル名刺ホルダー「ビットレック」は1台で名刺の登録、編集、閲覧が可能な名刺専用端末です。デジタル名刺ボックス「ビズレージ」はたったの名刺を一気にスキャンし、パソコンの専用ソフトで管理できます。それぞれの名刺管理方法に合わせて、最適な商品をお選びいただけます。

オフィス環境改善用品

Working
Environment



インフォメーションポール

本体の素材にファイルの表紙などにも使用されているPP(ポリプロピレン)を採用した、**軽量でお手頃価格の案内表示ツール**です。見出しは差し替えが可能で、使用頻度の高い案内文の見出しは8種類同梱しているほか、公式サイト内ではオリジナルの見出しの作成が可能。**訪日外国人の対応ツール**としても活用されています。



デスクポケット

デスクの引き出しの前板に取り付けるだけで、**デスクで散らかりがちな小物をスッキリと収納できる、新しいタイプの収納用品**です。オフィスで個人が使用できるスペースが狭いという悩みを、これまで使用されていなかった引き出しの前面を有効活用することで解決する商品です。

暮らしを楽しむ 新たな文房具ブランド

HITOTOKI (ヒトトキ)

近年キングジムは女性向けの文房具の開発にも力を入れています。2017年4月に新しい文房具ブランド「HITOTOKI (ヒトトキ)」を立ち上げ、「**ほんのひとときでま加えることで、暮らしが少し豊かになる商品**」というコンセプトに沿った7商品をラインアップしました。これからは持っているだけで嬉しくなったり、もっと集めたくなったり、使うほどに愛着が湧いたりするような「**暮らしの中の“ひととき”が楽しくなる文房具**」を開発していきます。公式インスタグラムもスタートし、商品情報や使い方を発信しながら、ユーザーとのコミュニケーションの新たなプラットフォームとして活用しています。



HITOTOKI



キングジムの ものづくりフィールド

キングジムの使命は、顧客と社会への貢献となるような新商品の開発にあります。現役の開発担当者にクローズアップして、開発現場をご案内します。



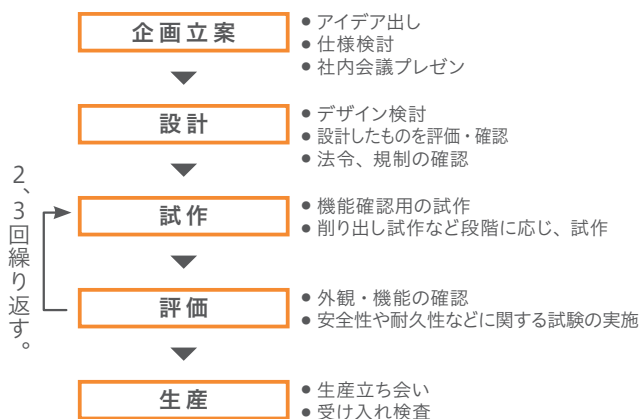
商品開発

商品開発のステップ

キングジムの商品開発は、アイデアを出した開発部員が、商品が生産されるまでリーダーを担当します。

商品の機能や仕様の決定はもちろん、商品のデザインや製造ラインの確認、パッケージや取扱説明書の制作まで、関連部署と協力しながら、先頭に立って商品開発のプロジェクトを進めていきます。

発案者の商品に対する情熱やこだわりを活かし、細部まで作り込んだ商品を開発するために、このような体制で商品化を進めています。



同時進行

- ・印刷物（取扱説明書、パッケージ、HP、パンフレット）のデザイン、校正 など
- ・関連部署への商品説明



商品開発部
渡部 純平



「欲しかった!」とお客様に 言われる商品を企画したい

電子文具を中心に商品開発を担当し、商品の企画アイデアからお客様に届くまでの全工程に携わっています。生活の中で困ったこと、不便に感じたことに普段から視線を向けるようにしています。デザインが素敵な道具や新発売した商品は自分の目で見ること、意識的に触れるよう心がけています。その中で、自分の不満をどう解消できるのかを考え、アイデアをもとに商品として具現化できた時に、とてもやりがいを感じます。

また、商品発売後に自分と同じ悩みを持っていたユーザーの方から「こんなものが欲しかった」と共感の声をいただいた時はとても嬉しいです。これからも電子文具というジャンルに限らず、より多くのユーザーの方から「欲しい」と思っていたいただけるような世の中のない商品を開発していきたいです。

HITOTOKI 開発担当者インタビュー

デザインの勉強で
色鉛筆や工具系文具に触れ
さらに文房具好きになりました

中学の時から
手帳をカスタムしたり、
こだわっていました！



商品開発部
望月 真希子

商品開発部
井上 彩子

Q HITOTOKI(ヒトキ)とは？

「ほんのひとてま加えることで、暮らしが少し豊かになる商品」というブランドコンセプトをもつキングジムの新たな文房具ブランドです。持っているだけで嬉しくなったり、集めたくなったり、使うほどに愛着が湧いたりなど「暮らしの中のたのしい“ひととき”」を提供できるような文房具を作りたい、そしてそのひとときをお客様と共有したいという想いで立ち上げました。

Q これまでの企画、開発で意識していることは？

ブランドコンセプトに則した企画であるかどうか、というはもちろんですが、“本当にこのデザインで惹きつけられるのか？この価格でも果たして買いたくなるのか？”など私たち自身も商品を使うユーザーとしての目で商品を厳しく見ながら開発しています。過去のキングジム商品は「オフィス」に寄り添った商品が多かったのですが、HITOTOKI は「暮らし」に寄り添った商品のため、会社にももっていてもなかなかヒントが少なく…展示会や作家さんの個展に足を運んだり、文房具店はもちろん雑貨店、インテリアショップ、人気のカフェなどを見に行ったり、話題の新商品にはできる限り触るようにしったりなど、インプットの量を増やせるようにしていま

す。お互いに担当している商品のサンプルに対してレビューをしあうこともあります。

Q ブランド化しようと思った経緯、きっかけは？

「暮らし」に寄り添った商品は、今までにいくつか「女子文具」というカテゴリ名をつけて市場に投入していましたが、もともと、「女子文具」にカテゴライズされる商品には共通したコンセプトがあったこともあり、この商品群を単なるカテゴリとしてではなく、お客様の暮らしに寄り添う商品の集まりとしてブランドを立ち上げたいと考え、今回のブランド化に至りました。

Q 「HITOTOKI(ヒトキ)」をブランド化する上で特に意識したことや苦労した点は？

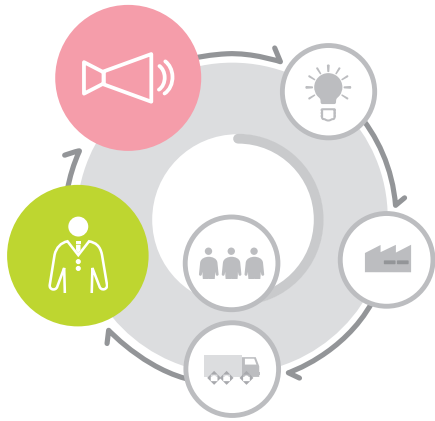
「女子文具」というカテゴリ名ではなぜお客様にブランドの想いが伝わらないのか、ということ、社内に説明することに時間がかかりました。「HITOTOKI」の世界観を伝えるため、ターゲットを具体的に設定した資料や、商品だけではなく、ショップやパンフレット、ポスターなどの周辺アイテムのイメージまで作り込んで提案しました。

また、これまでの「女子文具」に共通していた、想いを、お客様にも私たちにもじっくりくる言葉にすることが難しかったです。「いい日と。」のコピーは、外部のクリエイターと一緒に「HITOTOKIで実現したいことって何なのか」ということをとことん考え抜いて生まれたものです。

Q 今後の展開は？

今後も常にお客様の日々の暮らしに寄り添ったものを開発することを目標として、新商品が待ち遠しいと思っていただけるようなブランドに成長させていきたいと考えています。またブランド立ち上げ時に開設したInstagramを活用して、よりお客様と同じ目線で交流を図るような取り組みも増やしていきたいです。

HITOTOKI 公式Instagram @hitotoki_official

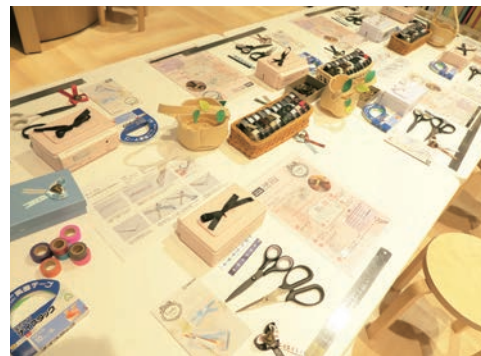


コミュニケーション活動

キングジムの商品を安心して購入、活用していただくために、さまざまな活動を通して、お客様の信頼を育んでいます。営業活動では、商品 PR だけでなく、顧客の問題解決のお役に立てるよう、提案型のアプローチに力を入れています。

ユーザー視点に立ったサービスの提供

「ほんのひとてま加えることで、暮らしが少し豊かになる商品」というコンセプトのもと開発された『HITOTOKI(ヒトトキ)』シリーズを使用したワークショップを、店頭や展示会会場などで開催しています。女性らしいフォントや絵文字が内蔵されたガーリー「テブラ」を使ったワークショップでは、かわいいお名前シールの作り方や、専用のりぼんテープカートリッジを使ったメッセージ入りのりぼん作りなどを、お客様に実際に体験してもらい、「テブラ」の認知拡大と、活用方法の提案を行っています。今後もワークショップを通して、お客様の生の声を伺い、商品開発に活かしていきます。



キングジムの商品をより多くのお客様へ届けるため日々邁進

既存ルートの代理店や販売店へ新商品や販促提案を行うのが主な仕事内容です。代理店や販売店を定期的に訪問し、商品の受注や売場作りの提案、特注品の対応など営業の仕事は多岐にわたります。

代理店や販売店の要望や意見に対して真摯に対応し、どうしてもより多くのキングジム商品を販売店へ、そしてユーザーへ届けられるかを考えながら営業活動を行っています。

そのため、実際に担当先の販売店でお客様がキングジムの商品を購入している現場に立ち会えた時はとても嬉しいですし、やりがいを感じます。

私の所属する東京支店は若手社員が多いため和気藹々としていますが、困った時にはすぐに手を差し伸べてくれる心強い先輩や上司が沢山います。1年目でもやりたいことにチャレンジできる風土はキングジムの魅力だと思います。



東京支店
青柳 早紀

ファイリング公開セミナー

お客様に、文書管理での困りごとを解決できるヒントや、ファイリングに役立つ情報を直接お届けするために、キングジム本社では不定期に無料のセミナーを実施しています。セミナーでは、ファイリングコンサルタントが時流に合ったテーマを選び、実践的で、すぐに仕事に活かせる文書管理の方法やおすすめのツールなどを紹介しています。会場では、参加者からの個別のご質問やご相談にもお答えし、現場の問題解決に役立てていただけるよう努めています。



お客様相談室

キングジムではお客様のお問い合わせ窓口として「お客様相談室」を設置し、電話・メール・FAXなどによる商品に関するお問い合わせを受け付けています。お客様相談室にいただいた、数多くのご意見・ご要望は、企画・開発・設計・製造・販売・サービスなどの事業活動にフィードバックされます。2017年度には開発本部などの関連部署へ、お客様から寄せられた声をも

とに商品提案87件、改善提案127件 計214件の要望書を提出し、品質やサービスの改善に繋げています。例えばホームページにお客様にとってより有益な情報を掲載できるよう、記載内容の変更や情報追加の要望を、担当部門に対して随時行っています。

広報活動

対外広報活動として、1年間(2016年6月21日～2017年6月20日)に商品関連24本、IR関連16本、合計40本のニュースリリースをメディアに発表し、公式サイトでも公開しています。また経営者だけでなく、商品開発担当者などへの取材を数多くお受けし、メディアにとりあげていただいています。

事実を重視し、虚飾情報を排して積極的に情報開示する姿勢によって、皆様に信頼される広報活動を積み重ねています。



Column

SNSを活用した情報発信

キングジムでは、お客様や市場との充実したコミュニケーションを目的に、ツイッターとフェイスブックを運用しています。SNSでは、企業情報や新商品、サービスなどの最新情報を主体に、他企業とのコラボレーション、日常のささやかな会話など、幅広いテーマで発信しています。今後もSNSでのコミュニケーションを通じてブランド価値を高められるよう、積極的な運用を行っていきます。

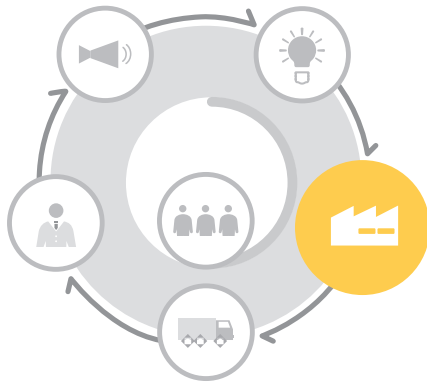


Twitterでのコミュニケーション



Facebookでの商品紹介

公式Twitterアカウント @kingjim 公式Facebookページ <http://www.facebook.com/kingjim.pr/>



環境配慮・品質管理

キングジムグループは、商品を提供するメーカーの立場として、商品が製造され、使用され、廃棄されるまでのライフサイクルを検討し、各ステップでの対策を追求しています。また、企業活動全体として、環境への影響に配慮した多様な活動を展開しています。

環境配慮設計

環境負荷を低減させるためには、原材料の調達から商品の廃棄に至るまでのライフサイクル全体を見渡すことが重要です。キングジムでは、「製造段階」「使用段階」「廃棄段階」の各ステップにおいて最適な仕様となるように、環境配慮設計に着手しています。

Step.1 製造段階

商品の企画・設計から環境配慮を重要テーマと位置づけ、商品の主要な部材に「再生紙」「再生PP」を使用することで、資源の有効活用に貢献しています。



「キングファイル スーパーパッド〈脱・着〉イージー」は表紙の芯材に、古紙パルプ配合率100%のクラフトボードを使用しています。



Step.2 使用段階

古くなった商品でも使用可能な部分を「再利用(リユース)」できる設計や、部材交換によって「長期使用(ロングライフ)」できる商品を開発しています。



とじ具と表紙が簡単に取り外しできるので、古くなった表紙だけを「替え表紙」に取り替えれば、とじ具をリユースできます。



Step.3 廃棄段階

商品の廃棄時を考慮して、部品ごとに簡単に分別できる「分別廃棄」仕様や、有害物質を含有しない「鉛フリーはんだ」を採用しています。また、キングジム独自の回収システムとして、テブラ使用済みテープカートリッジの「回収」「再資源化」「再利用(リユース)」を行っています。

商品の安全性や使いやすさへの配慮

キングジムでは、お客様に安心して商品を使っていただけるよう、開発本部内にエンジニアリング課を設け、商品の使いやすさや安全性・信頼性の試験などを行っています。

JISで定められた規格や、電気用品安全法、VCCI※1、RoHS指令※2などに準拠した設計を実施し、かつ商品が満たすべき品質の要求事項をまとめた、キングジムの設計仕様標準書を用い、お客様に安心してご使用いただける商品作りを心がけています。

商品の発売後も、工場や製造元から出荷された商品を受け入れる際には、JISで定められた抜き取り検査や、場合によっては全数検査を行い、品質が確保されているかをチェックしています。

また、定期的に商品の在庫から抜き取り検査を行い、品質が維持されているかを十分にチェックしています。

お客様や市場から故障やクレームなどの問題が発生した際は、問題の内容・頻度・被害範囲を特定するとともに、社内に対策チームを設置し、報告体制の確立や素早い商品の回収を心がけています。

※1 VCCI : Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment の略。
情報機器が発する電波の規制内容を協議する業界団体。また、同協議会によって定められた、電子機器から発生する妨害電波に関する規格。

※2 RoHS指令 : Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment の略。
電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令。



品質向上と効率の良い 製造のため改善を続ける

キングジムのベトナム工場では、キングジムで取り扱っているファイル商品群全般を製造しています。キングファイルを中心とした厚型ファイル、プラスチック(PP)を原料としたファイルやケースなど、作り方、原料はさまざまです。私はベトナム工場の管理部門全体を担当しています。ベトナムの風土や法に則って、会社を安全に運営するというのが仕事です。また、ベトナム人スタッフが効率的に、気持ち良く働ける環境を作ることを心がけています。

商品を作るにあたり、スタッフが一丸となって、5S活動や改善提案を行っています。毎週、5Sをはじめ職場の改善についてスタッフ間で話しあう場が設けられています。この中で話しあった効率化や商品の品質向上のアイデアを、改善提案として表彰する制度もあります。この積み重ねによって、ベトナム工場が生産する商品の品質が向上し、同時に工場自体も働きやすい職場になっていくと考えています。

今後も環境や安全に配慮し、継続的に成長できるよう運営にあたります。

KINGJIM(VIETNAM) Co.,Ltd
遠藤 慎



海外グループ会社

Vietnam



KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.
ベトナム／ビンズン省

Malaysia



KING JIM (MALAYSIA) SDN.BHD.
マレーシア／ケダ州スンガイペタニ市

Indonesia



P.T.KING JIM INDONESIA
インドネシア／東ジャワ州パスルアン県

錦宮(香港) 有限公司
中国／香港特別行政区

東南アジアを中心に電子製品などの販売を行うほか、調達関連の業務を受託しています。2012年設立。

錦宮(上海) 貿易有限公司
中国／上海市

中国で、キングジムグループ商品に加え、他社商品も含めた卸・小売販売を行っています。2002年設立。



職場環境

安心して働ける職場環境は、すべての事業の基本となる重要な要素です。キングジムでは、従業員の安全衛生管理に努めるとともに、自由闊達に意見具申のできる環境を実現しています。また、ダイバーシティやワークライフバランスの推進により、従業員がいきいきと働ける職場づくりを進めています。

働きやすい職場づくり

自己申告制度

年1回、全社員が将来のキャリアや現在の就業の満足度などについて経営トップに対して直接伝えることができる制度です。内容は社長と一部の役員の間でのみ共有され、適切な人事異動や職場環境の改善に繋がっています。

ワークライフバランスの向上

●年次有給休暇取得日数向上への取り組み

平均取得日数10日以上を目指し、全社員へ最低5日の取得を促進しています。取得状況は毎月各部門長へ配信し、「取得実績5日未満」の社員の進捗を確認しています。

●時間外労働削減に向けての取り組み

毎週水曜日は「ノー残業デー」を実施しています。また、毎月、個人別の時間外労働実績を各部門長へ報告し業務効率向上に取り組んでいます。

●有給休暇以外の休暇制度

有給休暇の他に、メモリアル休暇、リフレッシュ休暇、積立有給休暇などを設け、社員のプライベートがより充実するように努めています。

多様な人材の活躍推進

育児支援

育児と仕事の両立を後押しする取り組みを実施しており、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣より「くるみん」認定を受けています。

キングジムでは子供が小学校3年の修了時まで短時間勤務、時間外労働・深夜残業の制限制度を利用できます。これらの制度や育児休業は男女関係なく利用でき、育児休業については一部を有給としています。2017年の育児休業の女性の取得・復職率は100%、男性も育児休業を取得しています。



複数の部門経験が お客様への幅広い提案を可能に

新卒で入社し商品開発部に配属になり、「スキットマン 領収書ファイル」やレザフェスシリーズなどの企画から生産までの業務を担当していました。11年目に営業推進部へ異動後は、新規顧客の開拓や開発での経験を活かした特注品の提案をして売上に繋がりました。現在は量販部でホームセンターやGMSを担当していますが、商品提案や販促企画の提案はもちろん、量販ルート向けの商品企画もしています。開発と営業の両方の知識・経験を活かしながらお客様に幅広い提案ができることは自分自身のやりがいになっています。また、これまで複数の部門を経験する中で社内のいろいろな部署のスタッフと繋がりをもてたことは、仕事をスムーズに進める上での財産だと感じています。今後もこれまでの経験を活かしつつ、さらに新しい知識を吸収してお客様へご満足いただける提案をしていきたいと考えています。



量販部
新保 幸子

時差勤務制度

業務上の都合や傷病、育児・介護等の事由がある場合に、出勤時間を変更できるようにする制度です。

障がい者雇用

障がい者の雇用に継続的に取り組んでおり、2017年の障がい者雇用率は2.94%です。法定雇用率である2.0%や、全民間企業の平均雇用率を大きく上回る雇用率を維持しています。



川越オフィス

女性活躍に向けての取り組み

キングジムでは女性正社員の平均勤続年数を2026年3月31日時点で13.8年(2016年3月時点)から16.0年へ引き上げるため行動計画を策定し、様々な取り組みを行っています。

結婚・出産による離職防止のために、産休・育休前面談の実施、産休・育休取得者へ会社情報メールを月1回以上配信して

います。また、結婚・出産後も安心して働ける環境であることを周知するため、結婚→産休・育休→復帰までの社内制度・手続きをまとめた資料の作成や、復職後の不安解消のための産休・育休後面談の導入、産休・育休明けの社員を迎える部署と直属上司用の対応マニュアルの作成等を進めています。さらに、新制度導入も積極的に検討し、女性の活躍を推進する取り組みを行っています。

コンプライアンス体制

キングジムでは、コンプライアンスプログラムを制定して、法令遵守はもとより企業倫理の実践に努めています。万一コンプライアンスに関する問題が提起された時、およびスピークアウト担当弁護士からの通知を受けた時は、コンプライアンス統括責任者は、単独またはコンプライアンス委員会を招集・開催して是正命令等を出すことができます。

海外研修受講者 インタビュー



海外で培ったモノづくり への「こだわり」を伝えていきたい

約1年間、キングジムインドネシアでPPファイルの生産および海外営業の研修を行いました。1冊100円ほどのファイルでも細部までこだわっている生産側の現場を見ることで、改めて自社商品への信頼感と思い入れが増しました。また、現地の販売店で実施したディスプレイコンテストでは、異国の方がキングジム商品を一生懸命販売して下さる姿に触れ、大きな感動と喜びを得ました。

今後は、工場で身につけた知識や当社のモノづくりへの「こだわり」をお客様や社内に伝えていければと考えています。

東京支店
野上 仁章

育児休業所得者 インタビュー



妻と2人で娘の成長に関われた 貴重な時間

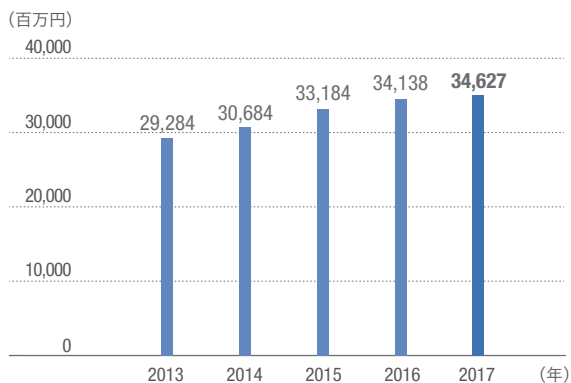
人事総務部
清水 陽介

キングジムでも育児休業を取得するのはほとんどが女性だったのですが、2017年1月に育児休業に関する社内細則が改定され、男性が育児休業を取得するハードルがグッと下がりました。ちょうどその年の6月に娘が生まれたので、育児休業を取らせていただくことができました。

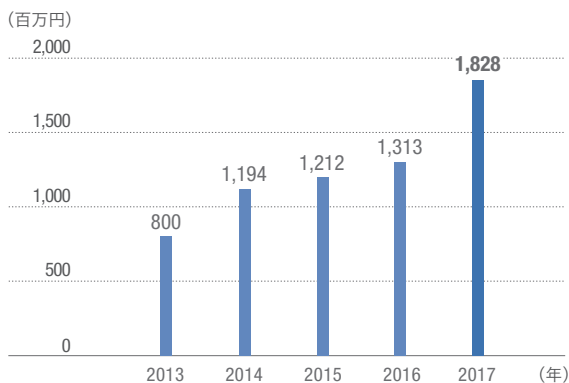
生後一カ月は妻も私もまだまだ慣れないことの連続で、大変な時期でした。そんなタイミングで妻と2人で日々成長していく娘の世話をすることができたことは、大変ありがたく、とても貴重な時間でした。育児休業を終えた今、仕事が終わって帰る時間には、妻と娘の一日は終わっていることがほとんどです。妻は折に触れて、あのタイミングで育児休業を取ってくれて本当にありがとう、と言ってくれます。

財務データ(連結)

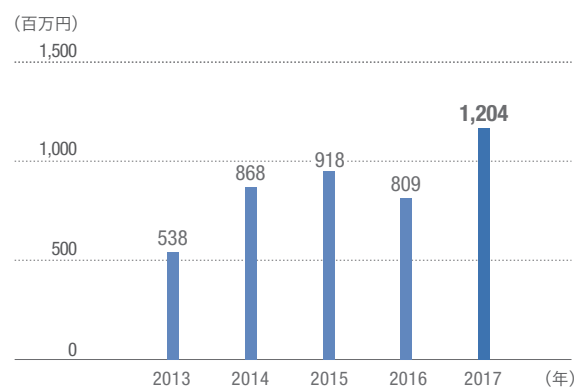
▶ 売上高 (各年6月期)



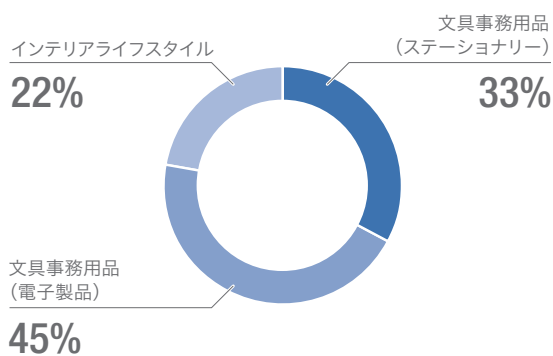
▶ 経常利益 (各年6月期)



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益 (各年6月期)



▶ 売上構成比



アカウンタビリティ

▶ 株主総会

定時株主総会では「開かれた株主総会」を目指して、理解しやすさを意図したビジュアル化を推進しています。2017年9月の「第69回定時株主総会」では、623名の株主の皆様にご出席いただきました。



定時株主総会

▶ IR活動

アナリストや経済記者等を対象に、年2回、決算説明会を実施しています。2017年2月に「第2四半期」、2017年8月に「期末」の説明会を実施し、代表取締役社長による決算内容・経営課題の説明、質疑応答を行い、ご出席の皆様にご理解を深めていただいています。



決算説明会

会社沿革

- 「株式会社名鑑堂」を設立 1947
- 大阪支店を開設 1948
- 社名を「株式会社キングジム」に改称
名古屋支店を開設 1953
- 宮本健三が社長に就任 1961
- 福岡支店を開設 1964
- 宮本浩三が社長に就任 1967
- 東京物流センターを開設
(現:東京ロジスティクスセンター) 1976
- 東京店頭市場に株式を登録 1981
- 宮本彰が社長に就任 1982
- P.T.KING JIM INDONESIAを設立 1984
- KING JIM (MALAYSIA) SDN.BHD.を設立 1987
- 東京証券取引所市場第二部に上場
長島商事株式会社(現:ラドンナ)をグループ会社化 1988
- 上海錦宮牧野国際貿易有限公司
(現:錦宮(上海)貿易有限公司)を設立 1992
- 東京証券取引所市場第一部に指定 1993
- KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.を設立 1996
- 株式会社アスカ商會をグループ会社化 1998
- 錦宮(香港)有限公司を設立 2001
- 株式会社ぼん家具をグループ会社化 2002
- 社長・宮本彰が藍綬褒章を受章 2005
- 2007
- 2008
- 2011
- 2012
- 2014
- 2015
- 2017

商品の歴史

- 1927 創業者・宮本英太郎が「特許人名簿」、「印鑑簿」を発売
- 1947 ルーズリーフ、バインダー、
各種ファイル類を生産発売 
- 1948 
- 1953 「キングファイルG」を発売 
- 1961 「クリアファイル」を発売 
- 1964 ラベルライター「テプラ」を発売 
- 1967 「キングファイルG」累計販売冊数1億冊、
「テプラ」累計販売台数100万台を突破 
- 1976 「取扱説明書ファイル」を発売 
- 1981 デジタルメモ「ボメラ」を発売 
- 1982 「ショットノート」を発売
「キングファイル」シリーズ
累計販売冊数5億冊を突破 
- 1984 「テプラ」累計販売台数950万台を突破

会社概要 (2017年6月20日現在)

商 号	株式会社キングジム KING JIM CO.,LTD.	株 式	東京証券取引所 市場第一部 証券コード7962
代表取締役社長	宮本 彰	従 業 員 数	2,334人(連結)
創 業	1927年4月	所 在 地	〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号 TEL.03-3862-2231(ダイヤルイン案内)
設 立	1948年8月	事 業 所 数	支店・営業所…8 物流拠点…2
資 本 金	19億7,869万円		

▶公式サイト

<http://www.kingjim.co.jp/>



▶公式Twitterアカウント

@kingjim



▶公式Facebookページ

<http://www.facebook.com/kingjim.pr/>



国内グループ会社

株式会社ラドンナ

LADONNA

結婚や赤ちゃんの成長記録など思い出の写真を大切に残すフォトフレームや、香りで心地良い空間を演出するアロマディフューザーをはじめ、使いやすさと見た目にこだわったキッチングッズや、リラクゼーショングッズ、ライフスタイルグッズなど、室内装飾小物・デジタル雑貨の企画・販売を行っています。

ギフト需要を中心に暮らしの中に“夢とやすらぎ”を提供していきます。



株式会社アスカ商会

asca

アーティフィシャルフラワーやクリスマスデコレーション、インテリア雑貨などの企画・販売を行っています。「asca」ブランドは、高品質とファッショナブルな商品展開で、インテリアおよびディスプレイ業界で高い支持を得ています。自然をモチーフに素材や色にこだわった個性あふれるフレッシュラインやアーティフィシャルフラワーの特性を活かしたデザインラインを取り揃え、あらゆる空間を彩っています。



株式会社ぼん家具

株式会社 ぼん家具
BON FURNITURE CO., LTD.

インターネットによる家具や雑貨、インテリアの通信販売を行っています。暮らしに役立つ組立家具や、高品質で安価なガーデニング用品をはじめ、さまざまなインテリア雑貨を、モダンからカジュアルまで幅広いテイストで提供しています。運営するECサイト「ゲキカグ」は大手ECモールなどで、数多くの賞を受賞しています。

ECサイト「ゲキカグ」
<http://gekikagu.com/>



株式会社キングビジネスサポート

キングジムグループ各社が本来の業務に専念し、企業価値を高めるためのビジネスサポート全般を行っています。総務・庶務・購買など周辺業務の見直しや従業員への福利厚生サービスの提供などを通して、効率的に業務を進められるようサポートしています。



事業拠点

支店・営業所・事業所

- 1札幌営業所**
〒062-0933
北海道札幌市豊平区平岸三条三丁目1番27号
- 2仙台営業所**
〒984-0002
宮城県仙台市若林区卸町東二丁目1番23号
- 3さいたま営業所**
〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目490番地
- 4東京支店**
〒101-0031
東京都千代田区東神田二丁目6番9号
アルテビル東神田II
- 5名古屋支店**
〒461-0004
愛知県名古屋市中区葵一丁目7番3号
- 6大阪支店**
〒542-0081
大阪府大阪市中央区南船場一丁目12番29号
- 7広島営業所**
〒733-0004
広島県広島市西区打越町14番10号
安田ビル1階
- 8福岡支店**
〒812-0016
福岡県福岡市博多区博多駅南三丁目2番20号
博多ハッコウビル1F
- 9松戸事業所**
〒271-0064
千葉県松戸市上本郷228番地

国内拠点



物流拠点

- 1東京ロジスティクスセンター**
〒134-0086
東京都江戸川区臨海町四丁目2番1号
- 2大阪物流センター**
〒553-0007
大阪府大阪市福島区大開四丁目1番18号

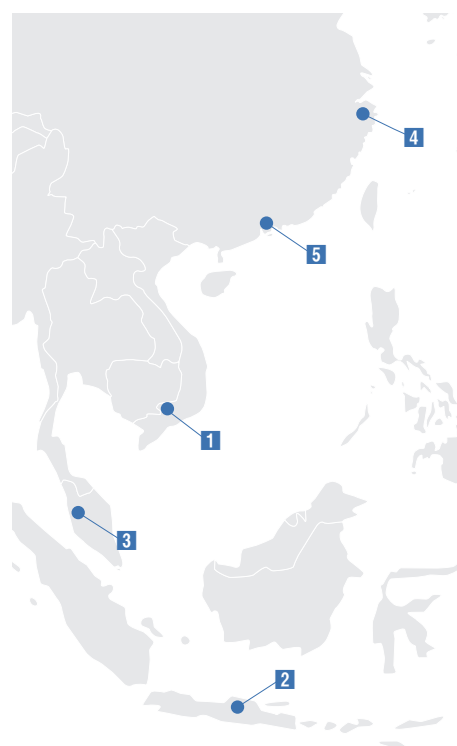
国内グループ会社

- 1株式会社ラドンナ**
〒135-0031
東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル
<http://ladonna-co.net/>
- 2株式会社アスカ商会**
〒464-0003
愛知県名古屋市中種区
新西一丁目2番10号
<http://www.asca-1971.co.jp/>
- 3株式会社ぼん家具**
〒642-0035
和歌山県海南市冷水851番地
<http://www.bonkagu.co.jp/>
- 4株式会社キングビジネスサポート**
〒101-0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号

海外グループ会社

- 1KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.**
Lot D-4A-CN & D-4C-CN, NE8B Street,
My Phuoc Industrial Park3, Thoi Hoa
Ward, Ben Cat Town, Binh Duong
Province, Vietnam
(ベトナム社会主義共和国 ビンズン省)
<http://www.kingjim.com.vn/>
- 2P.T.KING JIM INDONESIA**
JL.Rembang Industri II / 1
Rembang-Kav.Pasuruan 67152 Indonesia
(インドネシア 東ジャワ州パスルアン県)
- 3KING JIM (MALAYSIA)SDN.BHD.**
Lot 151, Plot 1&2, Jalan PKNK 3/1,
Kawasan Perusahaan Sungai Petani.
08000
Sungai Petani, Kedah Darul Aman,
MALAYSIA
(マレーシア ケダ州スンガイペタニ市)
- 4錦宮(上海)貿易有限公司**
中国 上海市黄浦区西藏中路728号美欣大厦
21DE
<http://www.kingjim.cn/>
- 5錦宮(香港)有限公司**
Room1408, Beverly House, 93-107
Lockhart Road, Wanchai, Hong Kong
(中国 香港特别行政区)

海外拠点





株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号

<http://www.kingjim.co.jp/>



この報告書は、FSC®認証紙、VOC（揮発性有機化合物）成分ゼロの100%植物性インキ、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷を採用しています。

発行：2018年1月